

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (甲信越)	◎	遊園地（職員）	来客数の動き	・前年と比較しても動きが鈍い。ただし、コラボイベントや年末のドローン&花火ショー、カウントダウンイベントの開催により、好調な推移もみられた。
	◎	その他サービス 〔葬祭業〕（経営者）	お客様の様子	・今月も葬儀の依頼が大変多く、1日に依頼が4件入った日もある。遺品整理の見積依頼も多い。
	○	高級レストラン （経営者）	単価の動き	・宴会、食事会、接待等で予約時に金額が上がっているため、来店日に次の予約も取っていく客が増えている。
	○	都市型ホテル （スタッフ）	来客数の動き	・年末年始は長期連休の方が多かったからか、例年よりも個人客の利用が長く続き、来客数も減少することなくにぎわいが続いた。ここ数か月は個人利用の動きが鈍かったが、回復傾向の月となっている。
	○	観光名所（職員）	お客様の様子	・近隣のスキー場へインバウンドが殺到しており、飲食店は9割以上が外国人客である。ただし、周辺への波及効果は少なく、特定地域だけが潤う状況となっている。
	○	その他レジャー施設 〔ボウリング場〕（経営者）	来客数の動き	・最大9連休になる年末年始だったこともあり、順調に来客数、売上が増えている。その後も週末を中心に、家族連れや若者の集客ができています。
	□	商店街（代表者）	販売量の動き	・新しい年がスタートして、天候もさほど悪くなかったので期待していたが、想定より客が出てこない。郊外に大型店がたくさん出店しているため客を取られる傾向にあり、正月早々、大変がっかりしている。
	□	商店街（代表者）	来客数の動き	・年末年始の長期休暇はそれなりの人出はあったものの、その後、景気は冷え込んでしまい、かろうじて前年並みである。
	□	百貨店（経理担当）	お客様の様子	・前年の能登半島地震の反動で、前年実績は上回っているものの、目標値には到達できていない。食品、特に生鮮品と日配品が苦戦している。最近の値上げや野菜類の高騰の影響、ターミナル駅ビルとの競合もあり、しばらくこの状況は変わらないと考えている。衣料品関連はセールにより、堅調に推移している。
	□	スーパー（経営者）	来客数の動き	・降雪が比較的少なく、来客数や来店頻度が増加しており、売上は微増となっている。
	□	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・3か月前と比べてそれほど販売が伸びていない上に、減ってもいない。割と平均的な状況で、なかなか3か月前を上回る売上にはならない。
	□	家電量販店（店長）	来客数の動き	・前年は能登半島地震の影響もあり売上が低迷していたものの、今年も大きくプラスとはなっていない。
	□	乗用車販売店 （経営者）	販売量の動き	・新型車イベントのないなかで、販売台数は伸び悩んでいるものの、単価が上がっているため、売上は維持できている。
	□	乗用車販売店 （経営者）	販売量の動き	・車検、一般整備については若干ではあるが、前月を上回っている。ガソリンや食料品を含むあらゆる物の価格高騰で、車両を含め高額商材に対する購入意欲はかなりそがれていると感じを受けている。
	□	自動車備品販売店 （従業員）	単価の動き	・燃料費の高止まりもあり、来客数は前年割れとなっているものの、客単価は前年実績を維持し続けている。
□	その他専門店 〔酒〕（店長）	お客様の様子	・具体的な売上は前年より良い状況である。これは価格が上昇していることを考えると妥当だといえる。ただし、客の様子や取引先の飲食店の様子を聞くと、飲食店は非常に厳しい。新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等、様々な感染症の影響なのか、あるいはローン金利が上がって、いろいろな物を制限しているという話もよく聞く。全体的に賃金は上がっていくようだが、非常に慎重にみえる。	

□	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・今年の年末年始は9連休で、この期間だけで1月の45%ほどの売上となり、大変助かった。しかし、その後は暇で閑散としている。インバウンドの多い地域であれば、春節も売上が伸びるだろうが、インバウンドの少ない当地は閑散としている。オーバーツーリズムが問題になっているが、オーバーツーリズムは売上があるので対策のやりようがあるはずである。しかし、インバウンドの来ない地域はインバウンドを増やすためのお金もなく、投資をしても集客につながらない可能性があり、こちらの方がつらい。
□	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・3か月前の11月は売上の的に落としていた。1月は通常なら更に下がる時期だが、今年は正月期間が長かった分、客の動きが非常に良く、レストランの売上は最終的に前年比105%程度になっている。
□	旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・国内旅行に対する需要の高まりは継続している。海外旅行への意欲は、円安が変わらないため停滞気味である。この傾向は変わらない。
□	通信会社（社員）	販売量の動き	・次世代の高速インターネットサービスやスマートフォンの新料金プラン開始などで、上向きになる材料はそろっている。ただし、まだ認知不足のため、加入者数の増加にはつなげていない。
□	ゴルフ場（経営者）	それ以外	・冬季クローズ中のため、客の来場がない。
□	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・客が購入に対して慎重になっており、成約率が低下している。
▲	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・年末から年明けと静かな状況が続いている。必要な物は購入するものの、不要な物は見向きもしない。物の値上げに収入が追い付かず、我慢している様子が見える。
▲	スーパー（経営者）	来客数の動き	・前年比で来客数は9%減少、売上は6%減少となっている。道路改良のため近隣の居酒屋が閉店したことや1日3回来店していた客が高齢者施設に通うようになり、来客数が減少している。今月は15日までは忙しかったが、後半はのんびりしている。通り魔事件が発生し、犯人逮捕までの5日ほどは夜間は人の動きがなく、来客数が減少した。
▲	スーパー（店長）	お客様の様子	・セール実施日の売上が大幅に上がっており、財布のひもが固くなっている。また、買上点数の減少傾向も続いている。
▲	コンビニ（経営者）	競争相手の様子	・当店より300メートルほどのところに、競合他社のコンビニが出店したので、やや悪くなっている。
▲	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数は3か月前と比べて前年割れの日がかなり多い。物価も上がっているのに、客単価は余り変わらない。物価高、ガソリン価格を含む負担増が、客の財布に響いている。
▲	コンビニ（店長）	単価の動き	・来客数はさほど減ってはいないものの、売上が余り伸びていない。実際、売上が伸びるはずの時間帯がやや厳しい。なかなか難しい状態である。
▲	乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・前年と比較しても動きが鈍い。
▲	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・例年12月から1月は販売は減少するが、最近の落ち込みが激しい。
▲	スナック（経営者）	来客数の動き	・物価が急上昇しており、お金を使わなくなっている。また、インフルエンザがまん延しているために外出を控えているようで、来客数が極端に減っている。また、通り魔事件の発生後には、宴会のキャンセルが数件出ている。
▲	タクシー運転手	販売量の動き	・インフルエンザが流行している。また、ガソリンや米等、諸物価が上昇しているため節約傾向にあることから、車に乗るのを控えている様子が見える。
×	商店街（代表者）	来客数の動き	・街の人出がなさすぎる。各店の努力不足が原因ではあるものの、かといって具体的な方策があるわけもない。無人のアーケード街をみていると気が滅入る。
×	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数の減少が続いている。価格高騰は収まっていないため、悪くなっている。

	×	ゴルフ場（副支配人）	単価の動き	・季節や天候もあるが、客単価が落ちている。例年と比べても、前年と同じ料金では全く集客できなくなっている。
企業 動向 関連 (甲信越)	◎	*	*	*
	○	*	*	*
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注品及び直販商材、ワークショップ予約、いずれも低迷している。
	□	電気機械器具製造業（従業員）	取引先の様子	・鋼板メーカーの話では、なかなか鉄板が売れず、ダブついた状況が続いている。
	□	金融業（調査担当）	取引先の様子	・足元ではインバウンド等、観光関連が好調で、非製造業の業況感は改善している。一方、製造業は半導体関連需要の落ち込みが長引いており、業況感はやや改善したものの、マイナス水準が続いている。
	□	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・インバウンド関連により、観光業は好影響を受けているようだが、物価上昇等で国内消費が低迷しているため、景気は変わらない。
	▲	食料品製造業（営業統括）	受注量や販売量の動き	・恒常的な円安で、国産ワインに消費者の目が向くと考えていたが、売上数量、金額共に前年を若干上回ったものの、利益は下回っている。
	▲	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・数量的にみても、引き合いが弱くなっている。
	×	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・仕事量が激減している。資材関係の遅延や案件の進捗が悪く生産に時間が掛かっている。全体的に動きが鈍い。
	×	その他製造業 〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・海外からのバイヤーも来場する宝飾業者向けの展示会が開催されたが、海外バイヤー、特に中国人バイヤーの勢いに陰りがみえ、高額品を求めるバイヤーはほとんどみられず、国内業者の来場も少なく、予想した成果はあがらなかった。地金価格が再び高騰していることから、受注も厳しいのが現状である。
雇用 関連 (甲信越)	◎	—	—	—
	○	*	*	*
	□	人材派遣会社（営業担当）	それ以外	・日々の昼食代で100円程度の値上げが多くなり、地方でも昼食代が1000円になるのは時間の問題のようである。米価が驚くほど上がっており、スーパーでの販売価格も確かに上昇している。相変わらず、賃金は上がっていない。
	▲	職業安定所（職員）	求人数の動き	・インバウンド需要や外出機会の増加に伴う、外食や宿泊施設向け等の業務用需要の増加などによる食料品製造業、供給回復による半導体関連の製造業では改善傾向がうかがえる。一方、卸・小売やサービス業等では人手不足は深刻なものの、コスト高や人件費の上昇に対する懸念からか求人が停滞気味である。
	×	—	—	—